

舞台芸術分野でのキャリア形成を目指し、劇場  
の制作現場を経験しながら、クリエイティブな  
視点で問題解決力を養う研修プログラム

東京  
芸術  
劇場

Tokyo  
Metropolitan  
Theatre

劇場を

創る。

と  
い  
う

仕事。

研修生募集

令和5年度 アーツアカデミー 東京芸術劇場 プロフェッショナル 人材養成研修

# 想いをカタチにする思考と経験を、 プロフェッショナルの現場で身につける——

研修プログラムは職員や専門家によるレクチャーやゼミ、東京芸術劇場での実務研修のほか、他館の見学や研修、レポート指導、面談など、多角的に展開します。

## 研修の様子



現場実習



ゼミ



他館見学



レポート指導



アウトリーチ



報告書講評会

## 研修プログラム

(過去の研修内容)

### 現場実習

#### [演劇制作分野]

- ・貸館業務補助
- ・若手劇団公演 制作補助・劇団紹介記事執筆
- ・ダンスワークショップ 企画提案・制作補助

#### [音楽制作分野]

- ・貸館業務補助
- ・演奏家育成事業 アウトリーチ公演制作補助・広報補助
- ・シアターオペラ公演 ツアーマネジメント補助

#### [教育普及分野]

- ・公演関連事業 展示企画・制作
- ・劇場ツアー 企画・制作
- ・子ども向けワークショップ 企画・制作
- ・障害者アーツ ダンスワークショップ 制作補助 等

### 面談

日々の業務や研修内容、進路相談など、職員との面談を定期的にも実施。

### レポート指導

週報・月報・報告書を執筆し、研修での学びを言語化することにより客観的な視点と分析力を身につけ、「芸術文化」を伝える言葉の力を培う。

### レクチャー・ゼミ

- ・劇場法と日本の公共劇場
- ・劇場と舞台技術について
- ・フェスティバルについて
- ・演劇プロデュースについて
- ・音楽プロデュースについて
- ・企画製作・発表 等

### 他館見学、出張研修

他の劇場や音楽堂を見学し、スタッフと意見交換することで、各地の公立文化施設についての知識を深める。

- ・新国立劇場
- ・東京文化会館
- ・世田谷パブリックシアター
- ・彩の国さいたま芸術劇場
- ・いわき芸術文化交流館アリオス
- ・KAAT神奈川芸術劇場
- ・STスポット
- ・城崎国際アートセンター
- ・芸術文化観光専門職大学
- ・SPAC-静岡県舞台芸術センター
- ・可見市文化創造センター
- ・兵庫県立芸術文化センター
- ・まつもと市民芸術館
- ・りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 ほか、多数

# 舞台芸術に関わる専門人材の育成

令和5年度  
東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修

## 令和5年度 研修生募集概要

### 01 研修目的

公立文化施設や芸術団体等で活躍することを目指す若手人材に対し、舞台芸術分野へのキャリアチェンジや、制作者としての資質の向上に資することを目的としています。現場での実務研修のほか、レクチャーやゼミを通して必要な知識や技能を習得するとともに、他の舞台芸術関係者とのネットワークを形成し、将来的に劇場運営の中核を担う人材の育成を目指します。

### 02 研修目標

- **現場経験** 制作現場で経験を積み、即戦力となることを目指す。
- **座学** キャリアの基盤となる豊富な知識を身につけ、クリエイティブな視点で問題解決力を養う。
- **ネットワーク形成** 将来のキャリアにつながるネットワークを築く。

### 03 募集コース、内容および人員

研修コース	分野	研修の内容(例)		募集人数
		現場実習	座学	
長期コース (10か月程度)	演劇制作 音楽制作	<ul style="list-style-type: none"><li>● 公演制作</li><li>● ホール運営</li><li>● フェスティバル制作</li><li>● 広報業務 等</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● レクチャー、ゼミ (アーツマネジメント、文化政策、 講読、リサーチ 等)</li></ul>	各コース 若干名
短期コース (3か月程度)	教育普及	<ul style="list-style-type: none"><li>● ワークショップ制作</li><li>● 劇場ツアー制作</li><li>● 地域連携企画</li><li>● 障害者アーツ運営</li><li>● 鑑賞サポート 等</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● レポート作成 (週報、月報および報告書)</li></ul>	

実務研修は本人の経験や適性と劇場のプログラム開催時期を考慮しながら、研修開始後に詳細を決定します。研修期間を通じて複数の実務研修に従事していただきます。  
※研修への取り組みに問題が見られる場合は、研修期間中であっても資格を取り消すことがあります。

### 04 研修期間および時間

#### ① 研修期間

長期コース 2023年4月下旬～2024年3月31日(日) 年間10か月程度

短期コース 2023年4月下旬～2024年2月29日(木)のうち、3か月程度

※長期・短期コースとも研修内容により、研修日は週4日～週6日程度まで変動します(土日祝を含む)。

※短期コースの研修開始日および終了日は、事業の予定と本人の希望を考慮し、相談の上決定いたします。

※長期・短期コースともフルタイム研修のため、原則として副業・兼業はできません。

#### ② 研修時間

原則として、8時45分～22時00分のうち、休憩時間を除き1日7時間45分(シフト制)

### 05 研修場所

東京芸術劇場、東京舞台芸術活動支援センター(水天宫ピット) ほか

## 06 参加費

無料（食事代や東京芸術劇場までの交通費等は、自己負担となります）

※当劇場以外の場所で研修する場合、当劇場から研修地までの交通費は実費を負担します。

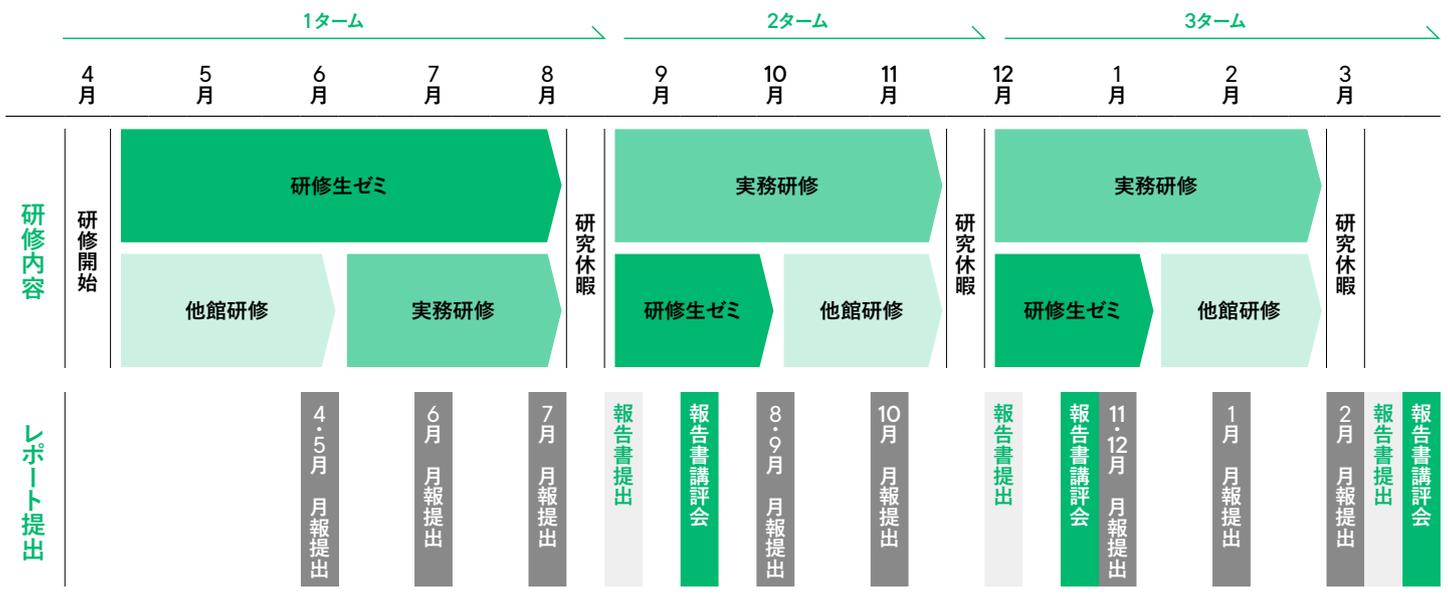
## 07 レポートの作成・提出

研修期間中に携わった業務について、当劇場が定めるテーマを基に所定の期間内に月報および報告書を作成し、提出していただきます。一定の水準を満たす内容のレポートを提出し、受講態度に問題がなければ、原則として1レポートごとに18万円（査定有り）をお支払いします。

- 上記金額には、調査研究費、通信費および報告書作成に係る事務経費を含みます。
- 雇用契約ではありませんので、労災保険、雇用保険、社会保険の適用はありません。

※支払に際しては支払額を所得とみなし、所得税を源泉徴収した差引額を指定の口座に振り込みます。

### 研修プログラムの流れ（長期コース例）



## 08 応募資格

本研修プログラムは、舞台芸術の担い手としてのキャリア実現に向けて、研修を通じて課題解決のための思考と経験を鍛えていく、自発的・自立的な姿勢が求められます。

- ① 職業として劇場や芸術団体等での制作者（プロデューサー、コーディネーター）を目指し、研修期間中、高い意欲を持ち、真摯な態度で研修に取り組むことができる方。
- ② 年齢22歳以上35歳位までで、社会人経験があること。
- ③ 下記①～③のいずれかに該当すること。
  - ① 演劇または音楽の分野で、概ね3年以上の制作経験がある方（劇団、制作会社、フリーランス、大学および大学院等）。
  - ② 文化施設での勤務経験のある方。
  - ③ 企業等において、概ね3年以上の実務経験がある方。
- ④ 基本的なパソコン操作が可能なこと（エクセル・ワード・メールソフトなど）。

## 09 選考方法

① 第一次選考 書類審査 応募書類および課題論文による書類選考

② 第二次選考 面接 面接日 | 2023年2月18日(土)

第一次選考合格者に対して、主として人物および識見についての面接を行います。

# 10 募集期間

2023年1月6日(金)～2023年1月31日(火)

# 11 応募方法および応募書類

## ① 応募方法

メールにて応募書類をお送りください。

[メール送信先]

arts-academy@geigeki.jp

件名 | 「アーツアカデミー研修生申込 (氏名)」

添付ファイル形式 | PDF推奨

※郵送、FAXおよび持参による受付は行っていません。

## ② 応募書類

① 所定の「研修生選考申込書」

② 所定の「履歴書」

③ 所定の「志望動機・自己PR書」

④ 小論文 1600字以内、指定の様式による。

課題 | 「劇場法に見る、公共劇場の『新しい広場』としての機能について」

①～④の各様式は、東京芸術劇場ホームページ (<https://www.geigeki.jp/info/artsacademy2023/>) からダウンロードできます。

応募の際にお預かりした個人情報については、個人情報保護法に基づき本選考に必要な範囲内で利用させていただきます。

# 12 合否の発表

① 第一次選考結果は、募集締切後2週間以内に本人あてにメールにてご連絡します。

② 第二次選考結果は、面接終了後2週間以内に本人あてに郵送します。

※ 選考結果については第一次、第二次とも電話等による問合せには応じられません。

## 修了生の声 研修を修了し、各現場で活躍する元研修生の声をお届けします。



### 小山彩花

2021年度研修生〈演劇制作分野〉長期コース、  
〈教育普及分野〉長期コース  
公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京  
事業部事業調整課 事業調整係 社会共生担当

アーツアカデミー在籍中は、公共劇場の企画制作の現場に携わりながら、レポートやゼミの課題に取り組むことで、現場の経験から生まれる疑問や思考を言語化する毎日でした。頭の中の理想と目の前の現実の不一致にどう向き合うか、という課題が常に横たわっていたように思います。簡単に答えが見つかる問いばかりではなく、考え続ける苦しさはありましたが、職員の皆様の丁寧なご指導とご協力のもとアイデアが形になったときは大きな達成感があり、「ここまでやり切った」という自信を得ることができました。応募するまでは不安や葛藤もありましたが、思い切って飛び込んで良かったと心から思える研修でした。



### 黒木裕太

2020年度研修生〈教育普及分野〉長期コース  
フリーランス (ワークショップ・障害者アーツ制作、ダンサー・振付)

アーツアカデミーに参加する前は都内で障害のある人たちとのパフォーマンスづくりに携わっていましたが、なかなか活動が広がらない状況をどうすれば改善できるのか当時はもがいていました。アーツアカデミーに参加し、劇場でのゼミや実務研修はもちろん、他館研修などを通じて、様々な人と出会い、考え方に触れさせてもらったことは今でも財産となっています。現場の運営だけでなく、事業を通じて社会とどのように関わり、展開させていくかを考えるようになったのはこの研修のおかげです。様々な劇場や団体のプロジェクトに制作者として、またアーティストとして携わっていますが、どの事業においても研修を通じて学んだことがベースになっていることを実感しています。

## 第1期から第9期修了生の主な就職先

(令和4(2022)年12月現在)

- ・(公財)岡山文化芸術創造 岡山芸術創造劇場
- ・(公財)神奈川芸術文化財団 神奈川県民ホール
- ・(一財)北上市文化創造 北上市文化交流センター さくらホール
- ・(公財)京都市音楽芸術文化振興財団 ロームシアター京都
- ・(独)国際交流基金
- ・(独)国立美術館
- ・(公財)静岡県舞台芸術センター SPAC
- ・(公財)新日本フィルハーモニー交響楽団
- ・(公財)東京都歴史文化財団 東京芸術劇場
- ・(公財)東京都歴史文化財団 東京文化会館
- ・(公財)としま未来文化財団
- ・(公財)としま未来文化財団 あうるすぽっと【豊島区立舞台芸術交流センター】
- ・豊岡演劇祭実行委員会事務局
- ・(一財)長野市文化芸術振興財団 長野市芸術館
- ・(公財)新潟市芸術文化振興財団 りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館
- ・(公財)練馬区文化振興協会 練馬文化センター
- ・(公財)兵庫県芸術文化協会 兵庫県立芸術文化センター
- ・(公財)福武財団
- ・(公財)読売日本交響楽団

## 応募書類送付先

E-Mail | [arts-academy@geigeki.jp](mailto:arts-academy@geigeki.jp)

## 問合せ先

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1  
東京芸術劇場 事業企画課 人材育成担当  
TEL | 03 (5391) 2116  
<https://www.geigeki.jp/>

主催 | 公益財団法人東京都歴史文化財団  
アーツカウンシル東京 東京芸術劇場

※本プログラムは公益財団法人東京都歴史文化財団の令和5年度予算が財団理事会で可決され、同評議会が承認した上で実施が確定します。  
※本プログラムの内容は、予告なく変更になる場合がございます。

### 東京芸術劇場について

東京芸術劇場は、東京の音楽・舞台芸術を代表する「顔」として、長期的な視点に立った芸術文化の「創造発信」「人材育成・教育普及」「賑わいの創出」「国際文化交流」に取り組んでいます。本格的なクラシック音楽、演劇・舞踊等の専用ホールと専門スタッフを有し、積極的な創造活動を行う東京芸術劇場の特性を活かし、高い専門性を持つ人材を育成していきます。

ARTS COUNCIL TOKYO



東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre